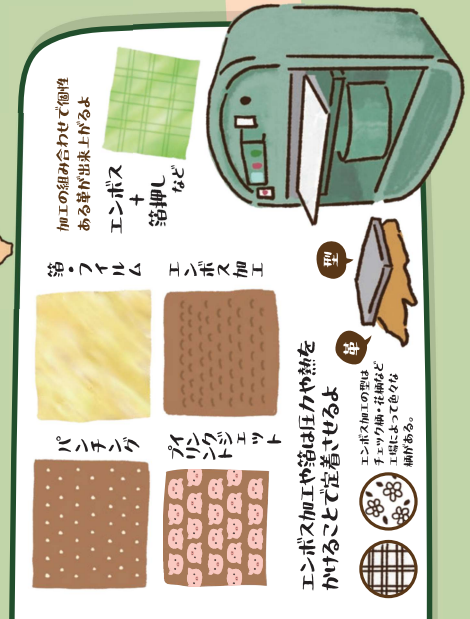
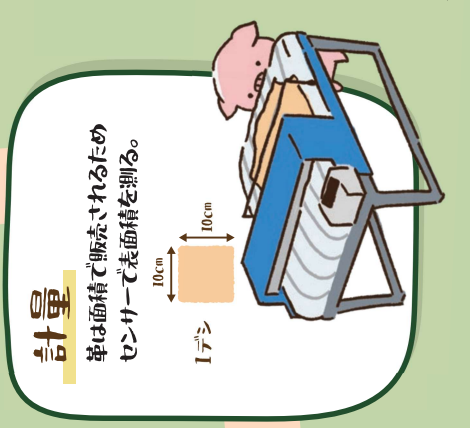
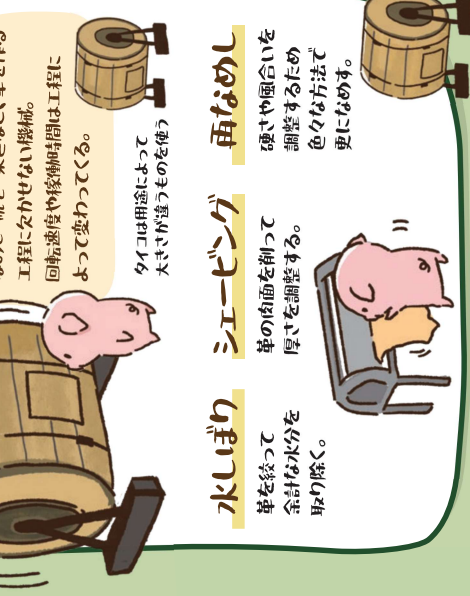
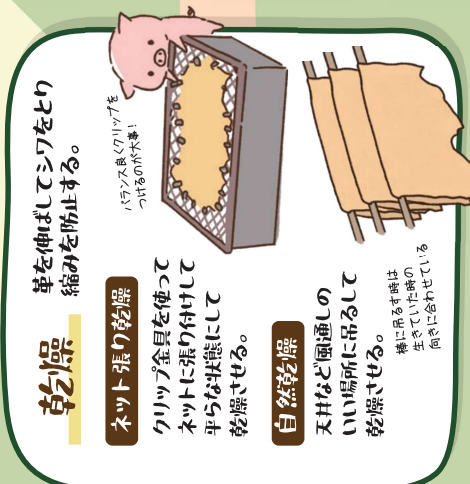
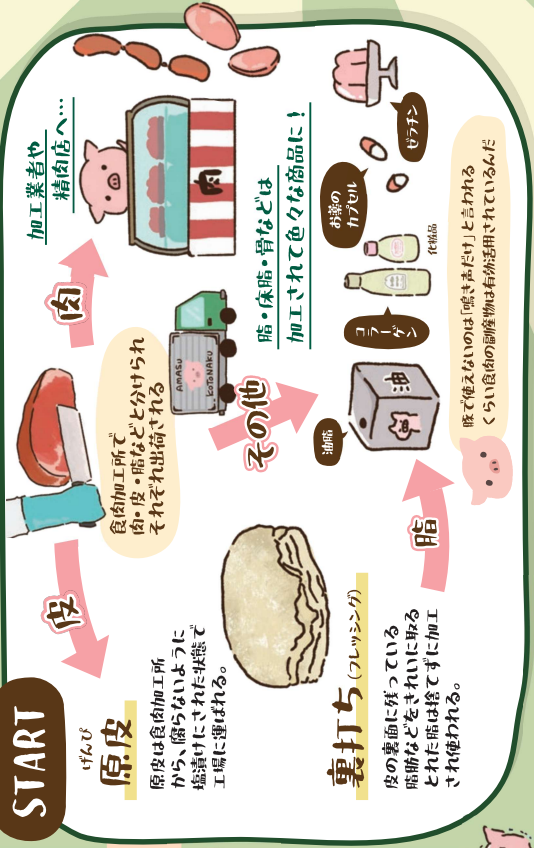


革から革へ



たくさん工程を経て... 革は生まれる



革の魅力



- 1 天然素材ならではの温かみや表面の美しさ、高級感がある
- 2 動物の動きに対応した皮が原料なので、伸縮性と弾力性がある
- 3 高温でも燃えにくく溶けないことから防火素材としても使われる
- 4 適度な吸湿性と放湿性があるため靴の内側にも使われている
- 5 使い込むほどに深い艶が生まれ手や体に馴染んでくる

革の種類



鹿 (Deer skin)

古来から甲冑など武具に使われ、てきた。しなやかで手袋や印伝の小物などにも使われる。

豚 (Pig skin)

国産で自給できる唯一の素材。原皮やなめし革は世界に輸出されている。タンニンを含み、豚革を染色し、鞣面をこめし鞣を出した「アム豚」は高級素材。

牛革 (Cattle hide)

あらゆる皮革の中で最もポピュラーで用途が広い。仔牛は高級な靴や小物に、成牛は大形の靴やベルト、衣料などにも使われる。

馬 (Horse hide)

牛革よりも原皮は薄く、しなやかで柔軟性がある。お尻の部分のコードハンには緻密で独特な光沢があり珍重され、ランドセル用が有名。



サメ (Shark)

網目状の凸凹によって、スジ状の色の濃淡がある。海の生き物なので水に強い。



ワニ (Crocodile)

フィルドで凹凸があり美しく並んだ斑(ふ)を持つ。高級素材。糸紡で規則はれている革もある。



へび (Snake)

個性的な斑紋や鱗が特長。部位で毒棘が変わる。小へびをスネーク、大型をハイソンと呼ぶ。

ビッグダスキンの種類

革の生地×色×仕上げ組み合わせは無制限

下地の革



タンニンなめし

植物の樹皮や葉から抽出したタンニンで革を鞣す。葉りとコシがあり、型押し形状が保持されやすい。鞣しに時間がかかり高価。



クロムなめし

広く自然界に存在する三価クロムでなめす。ソフトで軽く伸縮性があり、染色がよい。短期間で製造できてコストも抑えている。複数の鞣し方をミックスさせることもある。

革に色を付ける



染料染め

透明感のある染料で染色することで革の繊維がはつきり浮き出す。



手捺染 (てなせん)

刷毛や筆、スポンジなどを用いて手で色を付けたり模様を描く。



顔料塗装

表面に顔料を吹き付けて均質に色を塗るのでフラットな表情になる。



インクジェット

写真やイラストなどを自由にプリントできる。

表面感を加える



エナメル加工

革表面に樹脂を何層も重ねることで、艶と防水性を与える。



フィルム加工・箔加工

柄が描かれたフィルムや箔を熱と圧力で貼り付ける。工場が保有する多種の中から選んで使える。



スエード

革の裏面をサンドペーパーで起毛。ビッグスエードは毛足が長く、繊維が緻密で滑らかさがある。

後加工(物理的な加工)



パンチング加工

抜き型を使って、連続した穴を開ける。穴によって柄を表現できる。



エンボス加工(型押し)

彫刻された鉄板を熱と圧力をかけて押し付けることで、立体的な模様を浮き出させる。工場が持つ型の中から選ぶ。



カッチャング加工

革を水平に移動させながらナイフのような刃で革に切れ目を入れていく。写真は2方向からカットしたもの。

ビッグダスキンの基礎用語

鞣し(なめし)

動物の皮に化学処理を施して、腐敗しにくく、耐久性や強度に優れた「革」を製造すること

スエード

革の裏面をサンドペーパーで起毛させたもの。

革は生き物から作られるので個体差があります。

革は元の動物の個体差により大きさや表面感、硬さなどが異なります。染色は、個体差に加え水温や湿度などの環境でも微妙に変化します。背中は固く、お腹部分は柔らかいなど同じ素材の中でも物性が異なります。動物の皮を材料にするため、傷跡などがついている場合があります。

デシ(DS)

革を取り出す単位で10cm×10cmの大きさで、ビッグダスキンは平均120cmほどです。

ヌバック

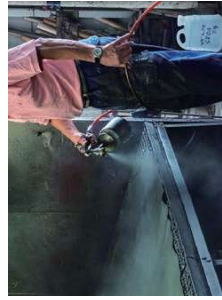
革のざん面をサンドペーパーで起毛させたものです。

床(とこ)革

皮を2層に分割したもので、裏面を持たない方を原料にした革。

- 企業
- クリエイター
- 一般(ネットショップ)

他にない「厚手の革」の加工を得意とするファクトリー



- 企業
- クリエイター
- 一般(ネットショップ)

手作り作家からプロの方までが通う、ビッグスエード専門ショップ



馬具、手綱、パッキングなどに不可欠な厚い革

株式会社エセカの社名は、「江澤染革株式会社」の頭文字から取られています。その名の通り、クライアントから持ち込まれた素材に対して、染色、塗装、再なめしといった、繊細な仕上げや後加工を得意としています。特にエセカには「厚もの」と呼ばれる「厚みのある素材」の依頼が数多くやります。特に4〜4.5mm厚の牛革の仕上げは、他社で扱うところが少なくなりまして。最近ではベルト、馬具、手綱、また工業用パッキングといった特殊な案件が増えています。「革に取って代わる材料がないものは、必ず残っています」と語るのは代表取締役の江澤正喜さん。特に馬具などに使われる革は、手作業で染色を行うことが多く、大変な手間がかかります。それでも「エセカさんに頼むと、仕上がった革が厚いままなのが有難い」という声に喜びを感じているとのこと。

一枚20キロの革を干していく

送られてくる牛革は、背中から半分ほど割った大ききの「半裁」と呼ばれるサイズ。普通の1:5〜1:8mm程度の厚みであっても、もろしりとした重さです。けれど、その倍以上の厚さの革は、加工するのも相当な力仕事が必要。革をドラムに入れて蒸留室の色に染色してから、手作業で機械を使って丁寧に水分を絞り、楯にくぎ打ちしていきまします。そこから革を伸ばし、1枚ずつ天井に掛けながら干していくのですが、まだ水分を含んでいるため1枚20キロという重量にもなるのだそう。腕力のある男性が数人がかりで行う仕事ですが、この作業ができることも減っているとのこと。「手間がかかっている作業ですが、いいものを作りたいという一心で続けていきます。クライアントから『この厚みが欲しいからエセカに依頼している』と言われることが、嬉しいですね。今後、『革ならではの』というものを作っていききたい」と江澤さんは笑顔で話してくれました。

株式会社エセカ

〒131-0042
東京都墨田区東墨田3-15-19
電話：03-3613-8851
FAX：03-3613-8854

代表取締役 江澤正喜



代表取締役 江澤正喜



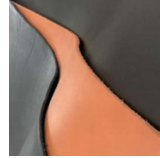
地図

reccomend



カーキバール

タンニン鞣しのポリュエーミーな山羊革をバール仕上げ



ソフトヌメ

ソフト仕上げで優しい手触りのタンニンなめし(ヌメ)革

このエリアで、ビッグレザードやゴットレザードなどの小判ものを中心に、1枚から気軽に購入できるオンライン販売を早くから行ってきた豊富な存在として知られています。色鮮やかなビッグスエードは、ハンドメイド作家やクリエイターの方々に、家庭用ミシンなどでも縫える扱いやすい素材として人気が高まっています。プレインなものだけでなく、フラワー柄、箔加工、撥水加工、またユニークなものでは木目調の加工など、さまざまな革のバリエーションを揃えています。

革1枚からオンライン販売も

コロナ期間中に、目の前に広がる専門職大学もオンラインし、若い人たちが行き交うようになったのも奇縁。石居みさお皮革販売代理店「中村貿易」は、この大学のすぐ目の前に位置しています。若手クリエイターのアトリエやおしゃれなコーヒーショップなど、近隣には次々と新しい風が起っています。

革をカタチにすることでイメージを喚起

専務取締役の中村伸一さんによると、「常に80色の在庫ストックがあるので、『1枚だけ』でも『同ロットの同色を20枚』という発注もお受けしています。200枚ずつ染めるため、色ブレが少ないのも好評です。ただ、近頃は色味も、また、2階フロアには職人が常駐するアトリエを構えて、お客様の声を聞きながら製品化も行っていきます。『レザー』は1枚の革のままでイメージしにくいので、バッグや革小物など立体にすることで、ご自身が作りたいものとすり合わせるサポートもしています。ただ、タイミングがあることで、コミュニケーションも取りやすくなり、そういうことでやりたかったというお声もいただいています」と中村専務は笑顔で話してくれました。最新情報はSNSにアップされ、とっておきの限定素材が紹介されることもあるとか。要チェックです。

販売代理店 中村貿易 株式会社

石居みさお皮革販売代理店：中村貿易株式会社

〒131-0045
東京都墨田区押上3-62-3 中村ビル
電話：03-6657-4440
FAX：03-5247-4080
メール：nakamura@abctown.net
HP：https://abctown.net



専務取締役 中村伸一



HP

reccomend



超撥水エード

製造工程で撥水剤を加え、半永久的に水を浸透させない



スエード

常時80色の在庫があり1枚から販売中!